



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 大日精化工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4116 URL <https://www.daicolor.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 駒田 達彦 TEL 03-3662-1638
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	90,578	△2.4	3,586	44.2	3,935	22.4	3,742	53.9
2023年3月期第3四半期	92,806	1.6	2,487	△60.8	3,216	△54.1	2,432	△54.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,336百万円 (△0.5%) 2023年3月期第3四半期 7,372百万円 (16.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	210.85	—
2023年3月期第3四半期	131.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	197,241	117,264	58.2
2023年3月期	192,765	114,301	58.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 114,823百万円 2023年3月期 112,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	40.00	—		
2024年3月期 (予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,400	△1.3	4,400	66.9	4,500	33.4	4,100	104.3	238.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	18,613,110株	2023年3月期	18,613,110株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,456,314株	2023年3月期	122,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	17,750,883株	2023年3月期3Q	18,487,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、インフレ等による世界的な需要の減少により欧州・中国経済が停滞する一方、日本経済は、好調な自動車生産やインバウンド需要により、緩やかに回復となりました。

このような経済環境のもとで、当社グループの主要な販売先である輸送業界の自動車向けは、生産拡大により回復基調となりました。一方、情報電子業界の液晶ディスプレイ向けは、生産調整により一部弱含みで推移し、また、物価高を背景とした消費低迷の影響を受け、包装及び建材業界向けが引き続き低迷しました。海外は、中国の景気停滞の影響を受け低調に推移しました。これらの結果、売上高は905億7千8百万円（前年同期比2.4%減）と減収になりましたが、販売価格の改定等により営業利益は35億8千6百万円（同44.2%増）と増益になりました。また、経常利益は39億3千5百万円（同22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に政策保有株式の売却益を計上したことなどにより37億4千2百万円（同53.9%増）とそれぞれ増益になりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

(カラー&ファンクショナル プロダクト)

当事業は、顔料・繊維用着色剤・プラスチック用着色剤・コンパウンド・顔料分散体・機能性材料の製造・販売を行っております。

情報電子業界向けの顔料及び分散体の売上高は、期初から好調だった液晶ディスプレイ用途が期末にかけて弱含みで推移しました。輸送業界向けのコンパウンド・着色剤は、自動車生産の持ち直しにより回復基調で推移しました。海外は、中国現地法人の家電OA機器向けのコンパウンド・着色剤が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、493億2千4百万円（同3.7%減）、営業利益は17億5千6百万円（同15.5%減）と減収減益になりました。

(ポリマー&コーティング マテリアル)

当事業は、UV・EBコート剤・ウレタン樹脂・天然物由来高分子の製造・販売を行っております。

ウレタン樹脂の売上高は、輸送業界向けは自動車向けが好調に推移した一方、産業資材向けの感熱記録用コーティング剤及び衣料品服飾品向けが低調に推移しました。情報電子業界向けのUVコート剤は、液晶ディスプレイ向けが好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、183億2千2百万円（同1.9%増）、営業利益は22億8千5百万円（同56.2%増）と増収増益になりました。

(グラフィック&プリンティング マテリアル)

当事業は、グラビアインキ・オフセットインキの製造・販売を行っております。

包装業界向けのグラビアインキは、物価高により食料品向け軟包装用途が低調に推移しました。オフセットインキは、需要減少により低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は228億7千7百万円（同2.9%減）と減収になりましたが、前期に一過性の新工場移転費用を計上したこと及び海外子会社において販売価格の改定等により損益改善が進んだ結果、営業損失は4億5千4百万円（前年同期は10億7千4百万円の営業損失）と損失が縮小しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,972億4千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ44億7千6百万円増加しました。これは主に「棚卸資産」が減少した一方で、「受取手形及び売掛金」が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は799億7千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億1千3百万円増加しました。これは主に「支払手形及び買掛金」が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,172億6千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ29億6千2百万円増加しました。これは主に「自己株式」の取得により減少した一方で、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したこと及び「為替換算調整勘定」が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年11月9日に開示しました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,756	24,983
受取手形及び売掛金	49,352	54,794
棚卸資産	33,994	32,875
その他	2,219	1,486
貸倒引当金	△79	△91
流動資産合計	110,243	114,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,451	21,313
土地	13,871	13,797
その他(純額)	14,451	15,405
有形固定資産合計	49,774	50,516
無形固定資産		
その他	1,394	1,233
無形固定資産合計	1,394	1,233
投資その他の資産		
投資有価証券	18,018	18,116
退職給付に係る資産	10,492	10,789
その他	2,857	2,581
貸倒引当金	△15	△44
投資その他の資産合計	31,353	31,443
固定資産合計	82,522	83,193
資産合計	192,765	197,241
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,771	29,882
短期借入金	12,431	14,898
1年内返済予定の長期借入金	5,502	4,509
未払法人税等	548	668
賞与引当金	1,661	1,051
環境対策引当金	13	2,867
その他	4,611	5,747
流動負債合計	53,539	59,625
固定負債		
長期借入金	12,507	9,891
環境対策引当金	2,967	98
退職給付に係る負債	7,619	7,843
その他	1,829	2,518
固定負債合計	24,924	20,352
負債合計	78,464	79,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,768	9,768
利益剰余金	81,791	84,105
自己株式	△287	△3,130
株主資本合計	101,312	100,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,113	6,341
為替換算調整勘定	3,201	6,440
退職給付に係る調整累計額	1,431	1,257
その他の包括利益累計額合計	10,745	14,039
非支配株主持分	2,243	2,441
純資産合計	114,301	117,264
負債純資産合計	192,765	197,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	92,806	90,578
売上原価	76,205	73,707
売上総利益	16,601	16,871
販売費及び一般管理費	14,114	13,284
営業利益	2,487	3,586
営業外収益		
受取利息	99	176
受取配当金	380	359
為替差益	138	173
その他	500	423
営業外収益合計	1,119	1,133
営業外費用		
支払利息	215	208
持分法による投資損失	22	351
固定資産賃貸費用	42	45
その他	109	178
営業外費用合計	389	784
経常利益	3,216	3,935
特別利益		
固定資産売却益	45	2
投資有価証券売却益	542	1,633
特別利益合計	588	1,635
特別損失		
固定資産売却損	2	40
固定資産除却損	94	92
投資有価証券評価損	10	6
新型コロナウイルス感染症による損失	115	—
その他	10	25
特別損失合計	232	165
税金等調整前四半期純利益	3,573	5,406
法人税、住民税及び事業税	421	1,062
法人税等調整額	639	519
法人税等合計	1,061	1,581
四半期純利益	2,511	3,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	81
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,432	3,742

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,511	3,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	227
為替換算調整勘定	4,729	3,271
退職給付に係る調整額	31	△174
持分法適用会社に対する持分相当額	196	187
その他の包括利益合計	4,860	3,512
四半期包括利益	7,372	7,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,935	7,036
非支配株主に係る四半期包括利益	436	300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,343,000株の取得を行いました。また、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式9,240株の処分を行いました。

これらの結果、単元未満株式の買取りによる取得も含め、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,842百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,130百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	51,228	17,973	23,548	92,749	56	92,806
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	112	353	—	466	(466)	—
計	51,341	18,327	23,548	93,216	(409)	92,806
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,078	1,463	△1,074	2,466	20	2,487

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	36,824	12,969	17,348	67,141	56	67,198
アジア	11,350	2,746	5,741	19,838	—	19,838
その他	3,053	2,257	458	5,769	—	5,769
計	51,228	17,973	23,548	92,749	56	92,806
顧客との契約から 生じる収益	51,228	17,973	23,548	92,749	32	92,782
その他の収益	—	—	—	—	24	24
外部顧客への売上高	51,228	17,973	23,548	92,749	56	92,806

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高（総額）	87,150	18,018	23,552	128,721	56	128,778
有償受給取引による 売上相殺額	△35,922	△45	△3	△35,971	—	△35,971
外部顧客への売上高（純額）	51,228	17,973	23,548	92,749	56	92,806

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	49,324	18,322	22,877	90,524	54	90,578
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	370	30	493	(493)	—
計	49,416	18,693	22,908	91,018	(439)	90,578
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,756	2,285	△454	3,586	0	3,586

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	38,439	12,621	16,656	67,717	54	67,771
アジア	8,736	3,566	5,881	18,183	—	18,183
その他	2,149	2,134	339	4,623	—	4,623
計	49,324	18,322	22,877	90,524	54	90,578
顧客との契約から 生じる収益	49,324	18,322	22,877	90,524	31	90,556
その他の収益	—	—	—	—	22	22
外部顧客への売上高	49,324	18,322	22,877	90,524	54	90,578

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高（総額）	79,867	18,372	22,881	121,121	54	121,175
有償受給取引による 売上相殺額	△30,543	△50	△4	△30,597	—	△30,597
外部顧客への売上高（純額）	49,324	18,322	22,877	90,524	54	90,578

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(組織再編)

当社は、2024年1月17日開催の取締役会において、グループ内組織再編（以下「本組織再編」という。）を行うことを決議しました。

1. 本組織再編の目的

当社グループでは、子会社であるディー・エス・エフ株式会社（以下「ディー・エス・エフ」）において、不動産の賃貸借他及び損害保険代理業その他の保険媒介代理業を営んでおります。この度、当社グループにおける業務の合理化及び経費削減並びに資金効率化等経営体制見直しの一環を目的として、吸収分割（簡易吸収分割）によりディー・エス・エフの損害保険代理業その他の保険媒介代理業を、新設する株式会社大日精化保険サービス（以下「大日精化保険サービス」）に承継させること及び本吸収分割の効力発生を条件に、吸収合併（略式合併・簡易合併）によりディー・エス・エフを当社が吸収することといたしました。

2. 本組織再編の概要

〈子会社の設立〉

(1) 設立の目的

当社子会社であるディー・エス・エフの損害保険代理業その他の保険媒介代理業を承継させる目的として設立したものです。

(2) 設立した子会社の概要

① 名称	株式会社大日精化保険サービス
② 代表者の役職・氏名	代表取締役 三浦 彰久
③ 所在地	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目7番6号
④ 設立日	2024年1月17日
⑤ 資本金	10,000,000円
⑥ 発行済株式数	10,000株
⑦ 決算期	3月31日
⑧ 事業内容	損害保険代理業その他の保険媒介代理業 他
⑨ 出資比率	大日精化工業株式会社 100%

〈連結子会社間の吸収分割〉

(1) 企業結合の方式

当社子会社であるディー・エス・エフを吸収分割会社、新設した当社子会社である大日精化保険サービスを吸収分割承継会社とする吸収分割（簡易吸収分割）です。

(2) 企業結合日

2024年4月1日（予定）

(3) 結合企業の名称及び事業の内容

	結合企業の名称	事業の内容
吸収分割会社	ディー・エス・エフ	不動産の賃貸借 他
吸収分割承継会社	大日精化保険サービス	損害保険代理業その他の保険媒介代理業 他

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

〈連結子会社の吸収合併〉

(1) 企業結合の方式

当社を吸収合併存続会社、子会社であるディー・エス・エフを吸収合併消滅会社とする吸収合併（略式合併・簡易合併）です。

(2) 企業結合日

2024年4月1日（予定）

(3) 結合企業の名称及び事業の内容

	結合企業の名称	事業の内容
吸収合併存続会社	大日精化工業株式会社	各種染顔料の製造及び販売 等
吸収合併消滅会社	ディー・エス・エフ	不動産の賃貸借 他

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

3. 実施予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定です。